



湧きあがれ、熱きクリエイティブ魂！

第一回

おさしの吉祥寺映画フェスティバル

Musashino Kichijoji Film Festival 2012

2012.11.1—11.3

東京武蔵野ライオンズクラブ 「ザ・フレンズ特別号」

発行日：平成 24 年 11 月 3 日

発行者：東京武蔵野ライオンズクラブ 広報・武蔵野コンテンツ委員会

委員長 秋田克之

副委員長 丸山信一・岩村昭英

委員 稲垣英夫・高橋勇・藤間仁章・西宮忠・田辺文彦・笹川裕司・酒井裕央・高根啓

協力 後藤敏夫・長谷部繁・長洲雄一・後藤登・佐藤雄一郎・中村久文

デザイン アニマルデザインスタジオ

編集 松井京子

主催：おさしの吉祥寺映画フェスティバル実行委員会

共催：東京武蔵野ライオンズクラブ



観る映画から、創る映画へ！

～開催趣旨～

世界には数多の映画イベントがありますが、そのほとんどが、作品を“観て楽しむ”とか“優劣を競う”ものになっています。しかし、映画はもっと広範囲に楽しめる要素を持っています。例えば、企画の背景、制作過程など、“創る”ことに触れる楽しさを知ること、新しい世界が見えてくるはずです。

「むさしの吉祥寺映画フェスティバル」。クリエイティブ魂の発掘・育成を核にしたこのイベントは、コンテンツビジネス発信の地として、多くの人材や企業の集まる場所であり、ものづくりの精神を大切に思う“魂の埋蔵量”世界有数の町、武蔵野吉祥寺によくマッチします。

古くは井の頭の泉から湧き出た水が神田川になり、神田上水として整備され、江戸に生きる人々の暮らしを潤しました。この地にふさわしい映画イベントを立ち上げようと思ったとき、世界中の人々の心を潤す才能が、滾々と湧き出る新しい泉のようにイメージされました。



人々の暮らしを潤してきた井の頭の泉は神田川の源泉になっています。



映画制作を競技会に！ 映画は映画館で観よう！

11月3日祝日の文化の日に第一回目の「むさしの吉祥寺映画フェスティバル」が開催出来ます事を大変喜んでおります。又、今回開催までに各方面の方々にご協力、ご共催、ご後援をいただきました事に御礼を申し上げます。

映画館のオーナーとして60余年に亘り、映画娯楽を通じて、街の商業促進や映画の芸術性による文化発信に努めて参りました。アニメーションやサブカルチャー的な作品、映画祭の運営や地元商店会と協力した自主上映会等、有名・無名を問わず映像作品を上映する中で、いつの時代も、映画館という空間にお客様の視点が集まり、吉祥寺という街にお越し下さるお客様のカルチャーやイベントなどに対する意識の高さに驚かされます。

現在、映画館は大きく様変わりしつつあります。映画を上映する環境が35mmフィルムからデジタル機器へと替わりました。フィルムが廃れていくことを惜む声もありますが、同時に新しい可能性も秘めています。本映画祭では様々なプログラムをご用意しました。創り手がより一層飛躍し、またお客様には大いに楽しんでいただく事を願っています。

実行委員長 本田 拓夫

武蔵野コンテンツを世界に！ ～開催までの道程～

遡ること6年前、2006年12月に、「吉祥寺国際映画祭創設」について語り合う会が開かれました。映画イベントのプロや一般公募の人たちを集め、盛大なイベントになりましたが、テーマが大き過ぎたためか企画はまとまらず、その後、会自体も開かれることはありませんでした。

しかし、映画祭創設の夢や情熱が消えたわけではなく、今度は48時間という時間制限内に、脚本から撮影、編集までやってしまう「映画制作競技会」をやろうという企画がスタートしたのです。

今年3月には有志が集まり、実際に短時間での映画制作にチャレンジし、4月にはプレイベントを行い、その後に実行委員会が立ち上がりました。

第1回開催は11月3日文化の日と発表していたので、準備期間は6ヶ月。この厳しい状況の中で、実行委員会では理想を語る側と、現実論を説く側で、喧々諤々のやり取りがあり、会を進めても企画の内容は詰まっていきません。

共同開催を目指してコラボを組んでいた、外部の映画イベント計画者も離脱していきました。

「もうダメか」という空気が蔓延し始めたとき、奇跡が起こったのです。危機感を募らせていたスタッフの気持ちが繋がりました。

まずはイベントの核を整理して、48時間ではなく24時間映画制作競技会のムービーピック24を中心に「映画とアニメの制作教室」、「世界が認めた映画」、「地元がらみの映画」を集めての上映会を両翼にする事を決めました。

そして、各部門責任者が精力的にテリトリーを形にしていって……。これも熱きクリエイティブ魂の成せるところだったのかもしれない。

潤沢な資金や万全な準備期間をかけて、練り上げられたわけではありませんが、6年前には夢物語だった企画が、実現するところまで辿り着いたのです。

こうして、小さいなりに武蔵野コンテンツを世界に向けて発信していくプラットフォームが出来上がりました。



コンテンツの宝箱である武蔵野吉祥寺エリアにて

この度、「むさしの吉祥寺映画フェスティバル」を開催することになりました。

武蔵野吉祥寺エリアは、公園、大学、商店街等、さまざまな魅力のあるスポットに満ち溢れております。

また、「住みたい街ランキング」でも例年1位に選ばれるほど魅力的なエリアです。この映画フェスティバルは、そんな武蔵野吉祥寺エリアを舞台とした地域密着型イベントです。

当イベントを通じて、武蔵野吉祥寺エリアの魅力が国内のみならず、世界的にも周知されることを願っております。



事務局長 小笠原 耕司



ムービピックアップ 24 in むさしの吉祥寺

●ムービピックアップとは？

ムービピックアップとは「観る映画から創る映画に」をテーマに、新しいクリエイター育成を目的とした映画フェスティバルのプログラムです。数多ある映画といえども、それをいざ自分が創るとなると、とてつもなく大変なことに気がつきます。そんな映画の制作を、撮影から編集、完成まで 24 時間で全てやっつけてしまおう！それが、このムービピックアップ 24 です。

これはハッキリ言って無謀です。本来、映画というものはテレビに比べて「じっくり時間をかけて撮り、しっかり繋げる」のが基本です。そのため映画業界の方からは「映画制作はそんなに甘くない」という声も上がっていました。しかし、映画というメディアはその歴史の中においても制限をつけることで新しいスタイルが生まれてきた経緯があります。また、昨今のデジタル技術の進歩によってクリエイターのイメージを以前よりスムーズに映像化できるようになりました。

実際、こうした時間的な制限を設けた映画制作プログラムは海外の映画祭ではよく見られるようになり、日本でも時々行われております。そして、徐々にではありますが新しい映像表現がそこに生まれています。

本プログラムは通常の上映するだけの映画祭とは違い、「この場所で映画を制作する映画フェスティバル」です。そのため多くの地域の方々のご理解とご協力なしには成立しえないプログラムです。

このような試みを様々な価値観を受け入れ、新しい文化を発信し続ける町「むさしの吉祥寺」でスタートさせられることは、私たちの未来にとって大変意義のあることだと感じています。

●競技方法

1 事前準備

今回は監督の選考にあたり「一緒に映画祭を創り上げていただける方」という基準を設け、7 チームにご参加いただきました。まず、事前に脚本と撮影スケジュール表、ロケーションリストを提出していただきました。そのうえで、武蔵野市観光推進機構のご尽力をいただきながら各ロケーションの許可取りを行います。

2 制作開始

11月1日午前10時に7チーム一斉に、バウスシアターより映画制作をスタートします。撮影、編集、音楽や効果音入れなど、全てを24時間以内に行わなければなりません。締め切りは11月2日午前10時。事務局に、完成した作品のデータをハードディスクに入れて納品したところで終了となります。

※制作体制

映画撮影につきましては、各チームにムービピックアップスタッフが付きます。彼らもまた、映像クリエイターであるため、管理するという立場ではなく、時として暴走しがちなクリエイターたちと、地域の方々とのバランスを取りながら、一緒に「映画制作をする」というスタンスで関わらせていただいております。



ムービピックアップ 24 総合演出 伊藤 秀隆

【経歴】2002 年度文化庁在外芸術家研修員としてジョージ・ルーカスを輩出したことでも知られる南カリフォルニア大学で映画制作を学ぶ。帰国後、数多くの CM や PV、ドラマなどの演出を手がける。2010 年 若者に絶大な人気を誇る桐谷美玲主演の劇場用映画「音楽人」、経済産業省制作 元モーニング娘の市井紗耶香を主演にした短編映画「名古屋 MEN'S 物語」などを監督。他にも、フジテレビ「逃走中」「劇団演技者」など多数手がける。第9回角川映画主宰「日本映画エンジェル大賞」受賞。

フジテレビ内定者研修講師や映像系専門学校講師を努め、経済産業省「コンテンツプロデューサー育成カリキュラム 企画開発」の執筆など、映像教育にも力を入れている。

映像以外にも、舞台の演出など「面白い事」になんでも挑戦している。現在は、映像 & 演劇で得た経験を、「非日常空間を実際に参加者が体験するエンターテインメント」をコンセプトにした体感型ゲームシリーズをスタートさせている。

PKシアター公式サイト <http://www.pkth.net>

◇ 第1回 チャレンジャー ◇



東京理科大学映画研究部チーム

監督：酒巻修太郎

平成 24 年 4 月東京理科大学映画研究部入部

7 月「解剖日記」発表

10 月「Flames Of Envy」発表



阿佐ヶ谷美術専門学校チーム

監督：古内勇氣

熊本県出身。平成 3 年生まれ。小学生の頃から実写やコマ撮りをしてカメラで遊び、今年から本格的に映画制作を始める。卒業後はチェコ留学予定。



女子美術大学 ガールズチーム

監督：濱田琴絵

普段学校では映画やアニメーションなどから絵コンテの描き方やストーリーの作り方を学び、クレイアニメや 3DCG、手描きのアニメや実写映像など幅広い手法で表現を学んでいます。

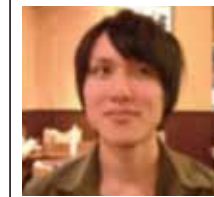


中根組

監督：Katsumi Nakane

映像ディレクター、株式会社 Nakane Production 代表取締役

映画、PR 映像、ミュージッククリップ、プロモーションビデオ、記録映像などを多数制作。



九宮島フィルムズ

監督：千代達也

大学卒業後、北海道から上京。ニューシネマワークショップを経て、自主制作で映画を作成中。



にがウーロン

監督：シーズン野田・ライフスタイル角田

武蔵野美術大学在学中に、にがウーロンという創作集団を結成。ぴあフィルムフェスティバル 2007 で審査員特別賞、2008 に観客賞受賞。また、サンダンス映像作家賞にてファイナリストに選出。翌年同賞においてベスト10入り。映画のみならずライブ、イラスト、コラム、漫画と創作の幅を広げながら最高に面白いものを追求中。



上垣組

監督：上垣保朗

日活撮影所入社、1982 年監督デビュー、代表作に「ピンクのカーテン」シリーズなど映画 14 作。連ドラ「僕が医者をやめたわけ」など、TV,V シネ多数。腎不全により映像現場から離れ、人工透析を始めて 25 年になる。2000 年劇団「染地組」旗揚げ、本年「6 人のイカれる女」公演。

審査員

委員長：布川郁司 株式会社びえろ代表取締役会長 日本動画協会理事 東北芸術工科大学大学院教授
委員：笹谷隆司 プロデューサー。代表作に「逃走中」、「戦闘中」(共にフジテレビ)「世界びっくり旅行社」(NHK)等
大鶴義丹 俳優、小説家、映画監督。脚本・監督作品に「前橋ヴィジュアル系」、「キリン・ポイント・オブ・ノーリターン」等。主な著書に「チェンジ・ザ・ゲーム」、「その役、あて書き」等
藤田佳子 女優、タレント、司会。松竹芸能「利休」の娘役でデビュー。主な出演作品に「HOTEL」、「水戸黄門」、「笑顔がいちばん」、「はぐれ刑事純情派」等



世界の名作と地元映画を一挙公開！

〈至 吉祥寺バウスシアター〉

●プログラムA ～世界のアニメと武蔵野発アニメ

<p>東京国際アニメフェア 2012 入賞作品</p>  <p>東京国際アニメフェア2012 Tokyo International Anime Fair 2012</p> <p>「東京アニメアワード コンペティション」公募部門 入賞作品 「東京国際アニメフェア」(通称 TAF) は、アニメのトレードショー (ビジネスデー)、フェスティバル (パブリックデー)、アワードと、3 つの要素で構成される世界最大のアニメ総合イベント。 その中で行われる「東京アニメアワード コンペティション」公募部門は、広く国内外のクリエイターから作品を募集、選考、表彰し、アニメーション産業の将来を担う人材の発掘と育成を図ってきました。優秀な作品が数多く集まり、応募作品の7割は海外からであることなど、国際的なコンペティションとして認知されています。 今回はグランプリ作品 1 本、一般部門・学生部門の優秀賞各 2 本ずつの計 5 作品を上映。 ●現在 2013 年の作品募集中● http://www.tokyoanime.jp/ TAF2013 は 2013.3/21 ～ 24 に東京ビッグサイトにて開催予定！</p>	<p>吉祥寺アニメワンダーランド 入賞作品</p>  <p>吉祥寺アニメワンダーランドとは、武蔵野商工会議所と地域コミュニティ、そしてこの町に縁のある漫画家、アニメスタジオが主体となって、1999 年より開催してきた、全国的にも例を見ないイベントです。 吉祥寺シアターや井の頭公園での野外ステージを始め、吉祥寺の各所で、ライブ、上映会、ファミリー参加イベントなど、魅力的なプログラムが行われています。 また、地元の若手映像、アニメ作家の作品を、吉祥寺縁のクリエイターが審査する『吉祥寺アニメーション映画祭』では、新しい才能が集まる場として、毎年盛り上がりを見せています。</p>
--	--

●プログラムB ～世界の短編映画と武蔵野発短編映画

<p>オーバーハウゼン国際短編映画祭 入賞作品</p> <p>各都市で映画祭が盛んに開催されているドイツ。その中でも、最も古く、伝統のある短編映画祭の一つとして数えられているのが、オーバーハウゼン国際短編映画祭です。 1954 年に創設されたこの映画祭は、様々な形式やジャンルを超え、短編映画の独自性を紹介してきました。また映像作品の前衛性や実験性に注目することで、国際的にも広く知られています。 2011 年度は世界各国より集まった約 470 作品が上映され、観客は約 17,500 人を動員。 現在、2013 年実施にむけて世界中から作品を募集しているところです。 今回は、ドイツ在住の映像作家、中沢あきさんにもご尽力をいただき、同映画祭の過去作品が所蔵されている膨大なアーカイブの中から、傑作選 10 タイトルのプログラムが上映されます。</p>	<p>O!!!DO 短編映画祭 厳選作品</p> <p>O!!!DO (オイド) 短編映画祭は、2012 年春より開催されている映画祭です。 吉祥寺のイベントスペース『Fourth Floor』発の企画が膨らみ、プロ・アマやジャンルを問わず、今現在の映画や映像が集まる場となるような映画祭を目指しております。 映画の上映前には、パフォーマンス、舞踏、弾き語りなどのライブイベント、監督、出演者のトークショーも行っております。吉祥寺バウスシアターをはじめ、監督、多くのお客さまのご協力をいただきまして、これまでに 2 回、開催いたしました。 現在、2013 年初頭の第 3 回に向け、作品を募集中であり、より刺激的な映画祭となるよう準備中です。 企画・司会 高野豆富 映画祭・ライブ・上映会のお問い合わせ (Fourth Floor) E-mail: shortfilm@fourthfloor.jp</p>
---	---

●プログラムC ～武蔵野発の地元制作映画とトークショー

あんてるさんの花



『あんてるさんの花』は、武蔵野市吉祥寺を拠点に、映画を通じて世界を元気にする活動を続けている「吉映」と、武蔵野市フィルムコミッションが連携して、武蔵野市オールロケで制作された武蔵野発の映画です。

【ストーリー】

ハモニカ横丁で居酒屋「あんてる」を営む安藤照夫は、ゲストで出演したコミュニティーラジオの収録で“忘れろ草”という不思議な花がある事を知る。その花は花びらに特殊な成分が含まれていて、触ると、

その触った人にしか見えない幻が見えるのだと言う。“忘れろ草”に触れた事で巻き起こる不思議な体験を通して、彼らは大切な絆を再確認する。昔ながらの町並みを残す横丁を舞台に、心温まるヒューマンファンタジーが繰り広げられる。

監督：宝来忠昭 / 脚本：ビーグル大塚 / 出演：小木茂光 / 徳山秀典 / 佐藤めぐみ / 田中美里
エグゼクティブプロデューサー：松江勇武 / プロデューサー：吉見秀樹

【トークイベント】

宝来忠昭監督と主演の田中美里さんをお招きしたトークイベントもあります。

●プログラムD ～ムービーピック 24 完成作品

24 時間で映画を創る！ この無謀ともいえるミッションに挑む 7 チーム。
果たして、地元「むさしの吉祥寺」を舞台に生み出されるのはいかなる作品なのか？
専門家の審査によって選ばれる、栄えある第 1 回金賞発表まで、感動のフィナーレにご期待ください。

●特別上映 ～吉祥寺が舞台！人気TVドラマまさかの劇場版

エアーズロック～まさかの劇場版

『エアーズロック』が劇場版として帰ってくる！
東京・吉祥寺のシューティングバー「EA(エアア)」を舞台に、ガイナックスが初の実写 TV ドラマを制作！！映画監督・山下敦弘との強力タッグから生まれた新感覚サブカル番組・脱力ヒーローコメディ『エアーズロック』TV シリーズを再編集。おいしいところをぎゅっと凝縮したディレクターズカット版を“まさかの劇場版”として装いも新たに特別上映します。



【ストーリー】

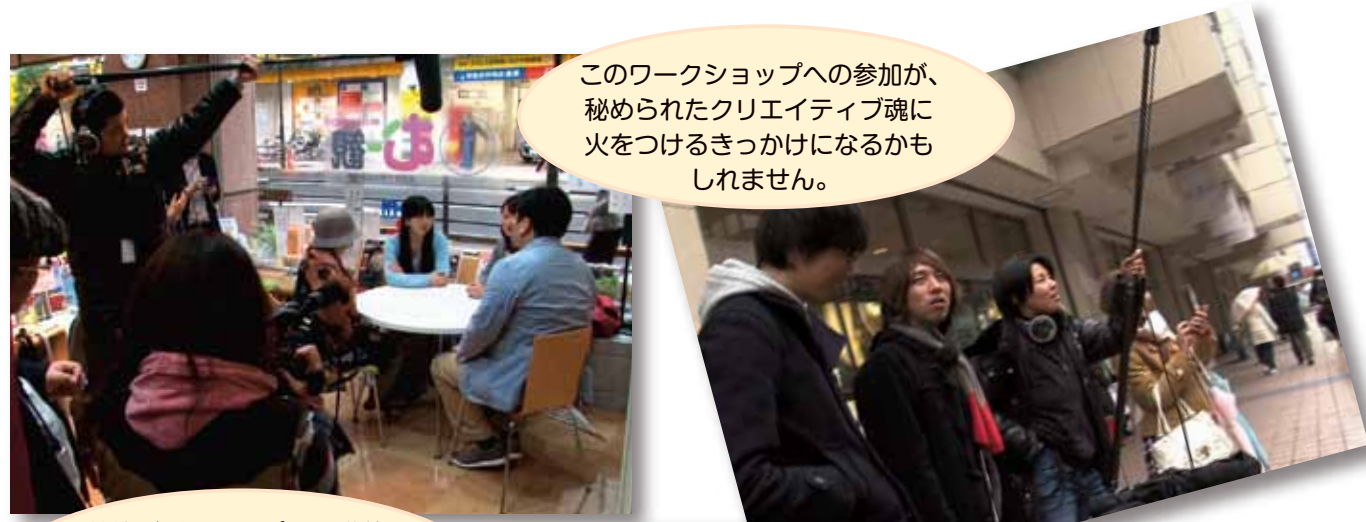
かつて地球の平和を守るために活躍した「感覚戦士ゴカンファイブ」も、怪人の乱獲と悪の組織の縮小により、出動要請が激減。現在ではメンバーもリストラや転職で減り続け、残っているのはヒーロー歴 25 年のゴカンレッドのみ。IT バブルで一発当てた元ゴカンブルーが経営するバー EA (エアア) の雇われマスターをしながら、細々と地球の平和を守っている。そんな赤井の元に、ウェイトレス兼ゴカンピーチとしてモモカ (17) がアルバイトとして入隊！ さえない中年ヒーロー・ゴカンレッドと、ド素人新人アルバイト・ゴカンピーチに地球は守れるのか！？

「エアーズロック～まさかの劇場版」 (2012 年/制作：ガイナックス)

総監督：山下敦弘 / 監督：今泉力哉 / 出演：山本浩司、椎名琴音、モト冬樹、日向丈、松浦祐也、前野朋哉ほか / キャラクターデザイン：大橋裕之 / 音楽監督：池永正二 (あらかじめ決められた恋人たちへ) / タイトルデザイン：小田島等

クリエイティブ魂に火をつける！

～映画・アニメ制作ワークショップ～



このワークショップへの参加が、秘められたクリエイティブ魂に火をつけるきっかけになるかもしれません。

最前線で活躍するプロの講義と実践を交え、企画から完成まで、ひと通りの映像制作を楽しく学べるワークショップです。



自分のアイデアを形にするわくわく感、仲間と一緒に作品をつくりあげたときの達成感は何ものにも代えがたいもの！



映画制作教室講師



阿佐ヶ谷美術専門学校講師
末岡一郎先生

阿佐ヶ谷美術専門学校メディアデザイン科・科長。大学では化学を専攻しつつ1985年から短編映画を制作し始め、作品数は100作程となる。

1994年ドイツ・オーバーハウゼン国際短編映画祭でノミネートされて以降、30カ国以上で招待上映される。2010年イブラヴァ国際ドキュメンタリー映画祭（チェコ）、2011年ブラチスラヴァ芸術祭（スロバキア）で特集上映される。また1995年以降、映像キュレーターとして日本の若手作家の作品を海外の映画祭に紹介している。映像学会会員。

アニメ動画教室講師



代々木アニメーション学院講師
竹本直人先生

専門学校卒業後スタジオ4°C入社
地球少女アルジュナ（原画）
キャプテンハーロック（原画）
学園戦記ムリョウ（原画）

アニマトリックス（原画）、マインド・ゲーム（原画）
魔法少女隊アルス（原画）、TOKYO TRIBE2（原画）
キャプテンポニーOPアニメーション（作画監督）
荒川アンダーザブリッジ（原画）

イベントを支えてくれた仲間たち

～実行委員会スタッフの紹介～

☆委員長	本田 拓夫	吉祥寺バウスシアター オーナー
☆副委員長	秋田 克之	武蔵野LC 広報・武蔵野コンテンツ委員長
☆事務局長	小笠原 耕司	武蔵野LC 武蔵野コンテンツ前委員長
☆相談役	布川 郁司	日本動画協会理事長
	鈴木 仁	元東京国際アニメフェアプロデューサー
☆広報部	見木 久夫	武蔵境活性化委員会広報部会長
☆地元渉外部	武藤 毅	武蔵野市観光推進機構 事務局長
	稲垣 英夫	武蔵野商工会議所 会頭（武蔵野LC会員）
	西宮 忠	武蔵野商工会議所 地域活性化委員長（武蔵野LC会員）
☆イベント部	岩村 昭英	武蔵野LC 広報・武蔵野コンテンツ副委員長
○ムービピックアップ 24	伊藤 秀隆	PKシアター代表・映画監督
	佐々木 洋平	PKシアター ディレクター
○映画教室（実写）	末岡 一郎	阿佐ヶ谷美術専門学校
（アニメ）	吉田 治幸	代々木アニメーション学院
○上映手配・設定	瓜生 資	O!!!DO 短編映画祭企画運営
	松江 勇武	吉祥寺で映画を撮ろう プロデューサー
	武川 寛幸	吉祥寺バウスシアター
☆外部コラボ部	東京国際アニメフェア実行委員会事務局 吉祥寺アニメワンダーランド実行委員会事務局	
☆事務局	本部：バウスシアター・本田プロモーション 実務：松野英、三浦紫緒里（小笠原六川国際総合法律事務所）	
*協力	武蔵野LC 会長 後藤敏夫 幹事 長谷部繁 広報・武蔵野コンテンツ委員会各位	

ご後援者からのコメント



武蔵野市 邑上守正 市長

「むさしの吉祥寺映画フェスティバル」のご開催をお祝い申し上げます。武蔵野市では、町の魅力を広くPRしていくため、公共施設をロケ地として提供するなど、観光推進機構のフィルムコミッション事業の支援を行っています。今回のフェスティバルが、地域活性化に貢献する人材の育成、コンテンツ産業の発展につながることを期待いたします。



武蔵野商工会議所 稲垣英夫 会頭

映画を絡めたイベントは、武蔵野市関連でも既にいくつか実施されています。最初に話を聞いたときは既存のものとの競争を危惧しましたが、今回は 24 時間で映画を創ってしまう斬新な企画が核になっていると説明され、新たな可能性を感じました。

武蔵野市はアニメ制作会社など、多くのコンテンツ企業が活躍する場所ですから、「クリエイティブ魂の発掘・育成につながるイベント」なら、商工会議所としても応援したいものです。特色のある、町の名物イベントに育っていくことを願っています。

武蔵野市商店会連合会 金子和雄 会長

武蔵野には魅力的な商店が数多くそろっていますので、映像を通して幅広く、皆様の目に触れる機会が増えれば、町を訪れる人も増えるはずです。市内ロケで生み出された作品の出来上がりが楽しみです。

武蔵野市観光推進機構 武藤毅 事務局長

この映画フェスティバルに今後、期待することは、ムービークリエイターを育成するムービピック 24 が、武蔵野市内でロケを行ない、その映像作品を通じて武蔵野市の魅力が多くの方に伝わり、新たな観光スポットが生まれてくれること。そして、この武蔵野市に多くの方が訪れてくださることで「地域活性化」につながることで。

武蔵野市開発公社 井上良一 理事長

今や映画やアニメで見て憧れた場所が、行ってみたい町・暮らしてみたい町として印象深く心に残る時代になっています。だから、この町を舞台にした映画が増えるのは喜ばしいことですし、そうなってもらいたいですね。

吉祥寺活性化協議会 塚本真史 会長

人気の町、吉祥寺というブランドに加え、クリエイティブな町としてのイメージアップも活性化に役立つ要素です。新しく立ち上がる映画イベントで、さらに多様な人たちを吉祥寺に引き寄せていただければと期待しています。

ご後援	ご協賛
小笠原六川国際総合法律事務所 後藤敏夫税理士事務所 株式会社 三祐産業 有限会社 ぴっくる 有限会社 境南建材工業 酒井薬品 株式会社 中浜工芸 株式会社 櫻井商事 株式会社 みずほ銀行吉祥寺・三鷹エリア法人部 秋本歯科医院 株式会社 共立ビル 株式会社 丸二 有限会社 大鵬 多摩信用金庫 武蔵野支店・吉祥寺支店 成蹊学園前支店 阿佐ヶ谷美術専門学校 代々木アニメーション学院	清水商事株式会社 株式会社武蔵境自動車教習所 有限会社永昇工業 新光商事株式会社 株式会社星川商事 藤間流舞踏研究所 雨坪守 税理士小林利治事務所 有限会社つぼみ装飾 吉田公認会計事務所 トミオ建設株式会社 大谷直法律事務所 有限会社田辺 有限会社 笹川興業 株式会社カヤシマ 株式会社プランニング・ジーン



東京武蔵野ライオンズクラブ 会長 後藤敏夫

この映画フェスティバルは、地元から優秀なムービークリエイターを生み出し、コンテンツビジネスが盛んな武蔵野市活性化の一助となることを目的として、西宮前会長・小笠原前武蔵野コンテンツ委員長時代から具体的に動き出したものです。

東京武蔵野ライオンズクラブは、東日本大震災の復興支援、障がい者支援、留学生との国際交流事業や、地域活性化活動等を行っている奉仕団体ですが、このようなイベント支援は初めての試みになります。

そこで、地元で映画ビジネスに精通されている、バウスシアターの本田様に実行委員長をお願いして、多くの方にご協力を仰ぎながら本日の開会を迎えることが出来ました。企画元であり、今回の共催者代表として、関係者の皆様のご尽力に感謝するとともに、なお一層の映画フェスティバル飛躍を祈念しています。

編集後記



「奇跡を起こすのは、若者、ばか者、それに、ウーマンパワーなんだぞ！」
 商工会議所の稲垣会頭から、そう言われたのは、実行委員会の立ち上げが決まった時のことです。もしも、そのお言葉通りだとすれば、若くもない男たちが奇跡を起こす道はひとつしか残されていませでした。
 ○○者パワー全開で「むさしの吉祥寺映画フェスティバル」を立ち上げたこと自体、すでに奇跡だという声も聞こえてきました。

しかし、本当の奇跡を起こすのはこれからです！
 今回は、途中から若者パワーが補給されましたが、将来的にはウーマンパワーもプラスして、ここ武蔵野の地より、優秀なムービークリエイターを輩出していきたい！そして、世界の映画人から「あこがれの地、武蔵野」と言われるほどに、この映画フェスティバルが大きく育っていくことを願っています。

広報・武蔵野コンテンツ 委員長 秋田克之